

3. 利用編

Q. 温泉は入浴以外に使えるの？

A. 入浴だけでなく足湯、食器等の下洗い、温泉暖房等に使用することが可能です。当市では温泉利用の新たな手法として、温泉熱による温泉暖房システムの普及を試みるため、水道局内に温泉暖房を設置し、モニタリング実証結果を毎年度ホームページに掲載しています。[\(詳しくは「平成28年度のモニタリング実証結果」をご覧ください。クリックすると新しいウィンドウが表示されます\)](#)

温泉暖房には様々なメリットがあります。11月から4月まで稼働していますので、ぜひ一度ご来局いただき、設置をご検討ください。

Q. 源泉から各家庭等に温泉はどのようにして届けられるの？

A. 当市が給湯している温泉は9つの源湯から揚湯した温泉を8つの配湯センターを経由して各地区へ配湯しています。

上諏訪地区へは ①②③④⑤の系統を中心とする地域と
⑤⑥⑦⑧⑨の系統を中心とする地域とに分かれます。

四賀地区へは ⑧⑨

西山地区へは ①②の系統が主流です。

①新三ッ釜源湯	単純温泉 アルカリ性単純温泉	弱アルカリ性低張性高温泉 アルカリ性低張性高温泉
②あやめ公園源湯	単純温泉	弱アルカリ性低張性高温泉
③湖柳源湯	単純硫黄泉	アルカリ性低張性高温泉
④湯の脇源湯	単純硫黄泉	アルカリ性低張性高温泉
⑤柳並源湯	単純温泉	弱アルカリ性低張性高温泉
⑥南部源湯	単純硫黄泉	弱アルカリ性低張性高温泉
⑦小和田源湯（組合）	単純硫黄泉	弱アルカリ性低張性高温泉
⑧湯小路源湯（組合）	単純硫黄泉	アルカリ性低張性高温泉
⑨中門川源湯	単純硫黄泉	アルカリ性低張性高温泉

※単純温泉…成分含有量が少ないため、無色透明、無味無臭で刺激が少ないです。

※単純硫黄泉…ほんのり硫黄臭が漂うものもありますが、無色透明、無味無臭に近いものが多いです。

これ以外に神宮寺、福島、赤沼、飯島地区で源泉があり組合等で運営されています。

泉質は主に単純温泉と単純硫黄泉の2種類で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔病、冷え性、病後回復、疲労回復、健康増進等に効果があるとされています。